

2023年度 国際科 1年次 カリキュラム

授業内容区分	科目名	内容・目標	1年前期 時間数	1年後期 時間数
			計	計
語学	初級英会話	国際的に活躍できる人材になるために、日本語だけでなく、英語も身に付ける。1年次は身近なテーマや日常会話から実践的に学習を行う。	18	18
	基礎英語	英語の基礎を固め、土台を作ることを目標とする。語彙を増やし、英文法の基本をしっかりと定着させ、より英語の構造に対する理解を深める。	18	18
社会人能力育成	日本文化 茶道	日本の伝統文化である茶道を通して、日本や日本人に対する理解をより深めることを目標とする。	18	18
	ビジネスマナー	日本で、日本人と働く際に必要となる身だしなみ、挨拶、言葉遣いなどを学ぶ。社会人としての意識の形成、働く際に必要となるスキルを身に付けることを目標とする。	18	18
	異文化理解	世界の多様な文化、習慣に対する理解を深め、異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。	18	18
	総合教養講座	日本で就職活動をするにあつて必要となるスキルを身に付ける。就職活動に対しきちんと心構えをし、備えることで就職活動の際に役に立つだけでなく、実際に「使える」ようになる。面接などの際に話が広げられるように今社会では何が起きているのか時事問題も授業の中で取り上げる。	18	18
	社会人基礎力育成	プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ等働く上で役に立つ能力を育成することを目標とする。	18	18
	PCスキル基礎	1年次では、基本的なコンピューターの使い方を学ぶ。まずは、日本語でコンピューターを入力することに慣れ、日本語を用いてWord、Excel、メールなどの作業ができるようになることを目標とする。	18	18
	体育	スポーツを通じて体を動かすことの楽しさを学ぶ。それとともに、健康維持増進と体力の向上を目指す。	18	18
日本語力向上	総合日本語	四技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。	72	72
	日本語能力試験対策	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。	108	108
	ビジネス日本語	特に仕事をする上で役に立つ日本語表現を学ぶ。ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際に働く際に役に立つ日本語の知識を習得することを目標とする。	18	18
	日本事情	日本社会、日本文化、日本人に対して「日本」に関するあらゆる知識を深めることを目標とする。日本人と関係を作る上で、何が大切なのかを学ぶ。	18	18
	日本語レベルアップ	「話す」、「書く」などを中心に学び、自ら発信する力を伸ばす力を身に付けることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。	36	36
専門分野	通訳入門	発音、初級文法など基礎を徹底的に見直すことで、語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ることを目標とする。1年次に土台をしっかり作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。さらに、翻訳の基礎もこの授業の中に含める。	72	72
			486	486
1年次総時間数			972	972
※さらに「オリエンテーション」、「親睦会」、「スポーツデイ」、「辛島祭」等でさらに33時間加算される。				

2023年度 国際科 2年次 カリキュラム

授業内容区分	科目名	内容・目標	2年前期 時間数	2年後期 時間数
			計	計
語学	英会話	1年次では身近なテーマや日常会話から実践的に学習を行ったが、2年次ではより話せる話題を増やし英語力の向上につなげる。	18	18
	基礎英語	1年次では、英語の基礎を固め、土台を作ることを目標とした。2年次ではその土台をさらに強固なものにし、きちんと英語の構造を理解した上で、さらなる高いレベルの問題に挑む。	18	18
社会人能力育成	ビジネスマナー 応用	1年次に身に付けた知識を活かし、社会人になるという意識をさらに強いものにし、話し方、来客対応など実践的に練習を行っていく。	18	18
	異文化理解	世界の多様な文化、習慣に対する理解を深め、異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。	18	18
	総合教養講座	2年次では実際に就職試験に向けて、エントリーの仕方、エントリーシートの書き方を身に付ける。面接試験の練習を徹底的に行うことで就職試験に備える。 ※2年次前期のみ	18	0
	社会人基礎力育成	プレゼンテーション、ディスカッション、スピーチ等働く上で役に立つ能力を育成することを目標とする。	18	18
	PCスキル 応用	2年次では、1年次に習得した基本的なコンピューターの知識を用いて、さらに高度なことができるようになる。メールの書き方、WordやExcelを用いたビジネス文書の書き方、Powerpointが使えるようになる。働く際に役立つコンピューターの知識を身に付ける。	18	18
	実践コミュニケーション	通訳として働く上で、人間関係を築くのは必要不可欠であり、人間関係を構築することはとても大切である。そのため、人とどのように接するべきか、人との距離の取り方などを学び、上手くコミュニケーションができるようになることを目標とする。 ※フィールドワークを含む。	18	18
日本語力向上	総合日本語	四技能(読む、聞く、書く、話す)を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。	72	72
	日本語能力試験対策	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標に、問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。	72	72
	ビジネス日本語	1年次で学んだことを活かし、1年次よりも実践的な練習を取り入れ、働く際に必要となる日本語の知識をより深める。	18	18
	日本事情	日本社会、日本文化、日本人に対して「日本」に関するあらゆる知識を深めることを目標とする。日本人と関係を作る上で、何が大切なのかを学ぶ。	18	18
	日本語レベルアップ	「話す」、「書く」などを中心に学ぶ。自ら発信する力を身に付けることで、日本語を「知っている」から「使える」に変え、日本語を運用できる力を習得する。ニュース、新聞記事等の「生教材」を用い、そこから自分の考えを述べる活動を行う。	18	18
専門分野	通訳講座	1年次では、通訳者としての土台作り、基礎的な練習により日本語力の向上と通訳者としての土台作りを目指した。2年次では基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。	108	108
	翻訳の日本語	1年次に「通訳入門」の際に取り入れた翻訳の技術のさらなる向上を目指す。	36	36
			486	468
			2年次総時間数	954
※さらに「オリエンテーション」、「親睦会」、「スポーツデイ」、「辛島祭」等でさらに加算される。				